

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150480020		
法人名	医療法人社団 高仁会		
事業所名	グループホーム 悠々(東ユニット)(西ユニット)		
所在地	佐賀県多久市北多久町多久原2512-24		
自己評価作成日	平成28年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjigyosyo_index=true">http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjigyosyo_index=true</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成28年12月2日	外部評価確定日	平成29年1月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(東ユニット)日常生活の中で、毎日行う作業(洗濯、掃除、食材の下ごしらえ、食器の片付け等)を入居者と職員が一緒に行いながら、共に生活している。入居者一人一人の「出来る事」「出来ない事」を把握し、支援を行っている。地域との交流を大切にしている。(西ユニット)家庭的な雰囲気の中で、日々過ごして頂ける様に支援している。入居者の思いや意思を大切にしている。外出や買い物等を通じて、地域社会の有り様を感じれるように努めている。(東西ユニット)手工芸(塗り絵など)や化粧教室を行い、興味や得意なものを引き出すようにしている。GH大地との交流を図り、ホームの活性化を図ろうと努めている。又、平成28年8月職員教育の一環として、GH大地との合同研修会を行い、認知症介護の質の向上を図ろうと努めた。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

平成12年の開設で佐賀県下ではグループホームの草分け的な存在である。その間の経験を活かしながらも、常により質の高い介護を求め続けている事業所である。ホーム長は特に利用者や家族と馴染みの関係づくりを大事にしている。また、人的環境を整えるために、認知症対応への教育や研鑽にも力を入れている。職員も理念を実現するために、ケアの具体的な目標をもって毎日の支援に臨んでいる。「尊厳を守り、落ち着きのある環境を提供します」、「入居者様一人ひとりのペースに合わせたケアを提供します」、「利用者全員と毎日関わります」等はその一例である。

地域に開かれ、地域に溶け込んでいる事業所でもある。職員が地域の奉仕作業に参加したり、利用者と近くの駅の清掃をしたり、認知症に関する相談にも快く橋渡しをする等、地域からの信頼も厚い。また、幼稚園や小中学校、高校との交流も盛んである。大学からの実習生も受け入れている。

散歩や買い物などの日常の外出や、ひな祭り、敬老会、茶話会、父の日、母の日、敬老会、触れ合いレク、子ども園との交流、その他の行事が毎日の暮らしにアクセントをもたらしている。また、彼岸花見学、村田英雄記念館、盆踊り見学、小旅行など楽しみなお出かけが計画され、実現されている。

# 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に密着した理念を掲げ、東ユニットのケア目標を考え、居間に掲示している。入居者のニーズに沿ったケアが提供出来る様に心掛けている。	地域に密着した理念を掲げ、西ユニットのケア目標を考え、居間に掲示している。入居者のニーズに沿ったケアが提供出来る様に心掛けている。	人格の尊重、地域に開かれ地域に溶け込む等の五つの理念をより具体的に実現するために、ユニット毎に職員で話し合い、それぞれのケアの目標を立てている。ミーティングでは具体的なケアについて意見の統一を図っている。ホーム長は適切な指導と助言を行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、GH大地との交流等を入居者と共に行っている。	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、GH大地との交流等を入居者と共に行っている。	地域の自治会にこそ加入していないが、全職員で地域の奉仕作業に参加する等地域との交流を心がけている。以前は利用者と共に近くの駅の清掃や公園の草取りもしていた。認知症に関する相談には親身に対応し、地域連携室に橋渡しをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内における文化祭への実施・参加を通し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。又、近くの幼稚園の方々と慰問に来られる方々と触れ合う機会を作っている。	法人内における文化祭への実施・参加を通し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。又、近くの幼稚園の方々と慰問に来られる方々と触れ合う機会を作っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで年間の活動に関するプレゼン(パワーポイント使用)を行い、周知を図っている。	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで年間の活動に関するプレゼン(パワーポイント使用)を行い、周知を図っている。	年に6回それぞれにテーマを設けての開催で、極めて有意義な会議となっている。面会カードに食中毒に関する注意書きを盛り込んだり、利用者の玄関からの出入りにはより注意深く気に留めたり、毎月地域から届けてもらう行事やお知らせを運営にも活かす、地域での自然災害の歴史を防災の参考にするなど、運営に活かしている事例も多い。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月1回開催される多久市地域包括センターで開催される多久地域ケア会議に出席し、情報交換の場としている。	毎月1回開催される多久市地域包括センターで開催される多久地域ケア会議に出席し、情報交換の場としている。	地域ケア会議を通じて情報や課題等を共有するだけでなく、マイナンバー交付に伴う個人情報の保護、家庭生活に伴う利用者の課題等を相談する等、行政とは協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、拘束しないケアに取り組んでいる。日中は玄関・裏口共に施錠していない。身体拘束も行っていない。契約書において、身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、御家族の意向等を確認している。	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、拘束しないケアに取り組んでいる。日中は玄関・裏口共に施錠していない。身体拘束も行っていない。契約書において、身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、御家族の意向等を確認している。	年間計画に位置付けて研修や勉強会が行われている。また、法人の委員会にも属しており、身体拘束の無いケアについての職員の意識も高い。これまで身体拘束の事例は無い。身体拘束だけでなく、精神的、社会的な拘束も無いケアを目指して研鑽を重ねている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する部署内研修を行ったり、法人内研修に参加している。身体的・精神的・社会的虐待ととられかねない職員の言動には気を付けるように注意している。	高齢者虐待に関する部署内研修を行ったり、法人内研修に参加している。身体的・精神的・社会的虐待ととられかねない職員の言動には気を付けるように注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	基本的人権・倫理等に関する研修会への参加、もしくはレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来る様になっている。	基本的人権・倫理等に関する研修会への参加、もしくはレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来る様になっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結・解約、改定に関しては、口頭及び文書にてきちんと説明し、納得・了解して頂けるように努めている。	契約締結・解約、改定に関しては、口頭及び文書にてきちんと説明し、納得・了解して頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口として、ホーム長及び東ユニットの担当者を配置している。契約書内に苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。	苦情相談窓口として、ホーム長及び西ユニットの担当者を配置している。契約書内に苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。	利用者や家族の声を拾い、心情や気持ちを察し、家族と馴染みの関係になるように努めている。どの家族も参加する敬老会の後に家族会も開かれている。利用者の個人別のアルバムを玄関ホールに置いたり、毎月の請求書に添えられているコメントから、面会時の話題になることも多く、運営にうまく活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聴き、反映させる機会を設けている。	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聴き、反映させる機会を設けている。	毎月の会議で理事長やホーム長は職員の意見や提案を聞き、協議して運営に活かしている。また、毎日の勤務の中でも常に職員の声を聞くようにしている。ケアに関するだけでなく、規定以上の職員数増員についても話題になることも多く、理事長やホーム長も真剣に受け止めて努力している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事評価制度を基にした各職員の年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができる様な仕組みがある。	人事評価制度を基にした各職員の年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができる様な仕組みがある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会に関する情報提供がなされており、必要な勤務調整も行い、参加できる機会作りを行っている。	法人内外の研修会に関する情報提供がなされており、必要な勤務調整も行い、参加できる機会作りを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日本認知症GH協会佐賀県支部の研修会への参加や同じ多久地区にあるGH大地との合同研修会を開催し、認知症ケアに関する学習や情報交換が行える様に努めている。	日本認知症GH協会佐賀県支部の研修会への参加や同じ多久地区にあるGH大地との合同研修会を開催し、認知症ケアに関する学習や情報交換が行える様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に見学を希望されるご本人や御家族にホームに来て見学をして頂き、説明を行っている。ご本人や御家族から入居にあたり、生活歴や現病歴をお聞きし、情報収集を行っている。それを基にしたフェイスシートやケアプランの作成に努めている。	入居前に見学を希望されるご本人や御家族にホームに来て見学をして頂き、説明を行っている。ご本人や御家族から入居にあたり、生活歴や現病歴をお聞きし、情報収集を行っている。それを基にしたフェイスシートやケアプランの作成に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたり、グループホームでの生活に不安が生じない様に要望等を十分聴き、それに沿えるように留意し、ご本人や御家族への説明を行う様に努めている。	サービス利用開始にあたり、グループホームでの生活に不安が生じない様に要望等を十分聴き、それに沿えるように留意し、ご本人や御家族への説明を行う様に努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や御家族からの要望を聴き、張りのある生活を提供できる方法として、デイケア参加に関する調整を行なっている。	ご本人や御家族からの要望を聴き、張りのある生活を提供できる方法として、デイケア参加に関する調整を行なっている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者それぞれに「受け持ち」を配置し、ニーズを掴み、必要であれば御家族との関係調整を図る役割を行っている。日常生活上でご本人の出来る所や得意なものを活かす様に努め、趣味を大切に出来る様に援助し、食事や洗濯等へ関わって頂くように努め、フォローを行っている。	入居者それぞれに「受け持ち」を配置し、ニーズを掴み、必要であれば御家族との関係調整を図る役割を行っている。日常生活上でご本人の出来る所や得意なものを活かす様に努め、趣味を大切に出来る様に援助し、食事や洗濯等へ関わって頂くように努め、フォローを行っている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族との関係性が維持できるように努め、必要であれば電話連絡を行ったりして、タイムリーな情報伝達に努め、面会時には日頃の過ごし方に関する情報提供を行ったりしている。又、一緒に食事をして頂いたり、ホーム内での行事も一緒に楽しんで頂けるようにし、雰囲気作りに努めている。	御家族との関係性が維持できるように努め、必要であれば電話連絡を行ったりして、タイムリーな情報伝達に努め、面会時には日頃の過ごし方に関する情報提供を行ったりしている。又、一緒に食事をして頂いたり、ホーム内での行事も一緒に楽しんで頂けるようにし、雰囲気作りに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日を記念した行事を行い、共に喜べる様に努めている。	御家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日を記念した行事を行い、共に喜べる様に努めている。	馴染みの理美容室へのお出かけ、散歩、デイサービスの利用など多くの場面で支援している。地域環境の変化で機会は少なくなったが買い物にも出かけている。知り合いの方の面会も多々あるが、利用者が不安定になる場合もあったことから、慎重に対応するよう心がけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者それぞれの性格や特性を考慮し、孤立しない様に職員は関わりを持ち、ケア目標としてそれを掲げ、ケアに努めている。	入居者それぞれの性格や特性を考慮し、孤立しない様に職員は関わりを持ち、ケア目標としてそれを掲げ、ケアに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたような場合には、御家族の了解を基にお見舞いに行き、状態や状況を確認する様にしている。	入院されたような場合には、御家族の了解を基にお見舞いに行き、状態や状況を確認する様にしている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活の中で、入居者と向き合い、希望や意向を傾聴し、カンファレンスにおいて検討している。又、御家族の希望や意向を聴き、本人との対話を行い、表情や態度、雰囲気等をくみとりながら検討する様にしている。	日頃の生活の中で、入居者と向き合い、希望や意向を傾聴し、カンファレンスにおいて検討している。又、御家族の希望や意向を聴き、本人との対話を行い、表情や態度、雰囲気等をくみとりながら検討する様にしている。	入居前の諸情報からだけでなく、入居後も常に利用者や家族の意向を察するよう努めている。「毎日、必ず利用者全員と関わるようにします」とのケア目標もある。利用者との会話、つぶやき、ちょっとした表情の変化や行動からも意向や心持ちを察している。年に1回行っている利用者対象の満足度調査は、その後の支援に活かされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人や御家族から情報を得つつ、日常生活の中でご本人の生活状況や習慣に目を向けながら、生活のパターンをくみとっている。	入居時にご本人や御家族から情報を得つつ、日常生活の中で本人の生活状況や習慣に目を向けながら、生活のパターンをくみとっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、ご本人の出来る事、出来ない事を把握し、見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じながら、生活全般の支援を行っている。	日常生活の中で、ご本人の出来る事、出来ない事を把握し、見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じながら、生活全般の支援を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や御家族からの希望や意向を聞き入れながら、生活状況においてモニタリング等を行いながらカンファレンスを行い、介護計画を作成し、3か月、6か月と個々の状況や状態に応じて、その都度対応の見直しを行い、随時検討・変更を行っている。介護計画の内容については御家族へ説明し、署名を頂いている。	ご本人や御家族からの希望や意向を聞き入れながら、生活状況においてモニタリング等を行いながらカンファレンスを行い、介護計画を作成し、3か月、6か月と個々の状況や状態に応じて、その都度対応の見直しを行い、随時検討・変更を行っている。介護計画の内容については御家族へ説明し、署名を頂いている。	全職員が関わっての介護計画の作成である。利用者や家族の生活に対する意向を踏まえて、具体的で実行可能な計画が作成されている。週間サービス計画表やモニタリング記録表も整備され、家族もカンファレンスに入っている計画作成である。定期的、或いは状況に応じて、計画の評価や見直しもきちんと行われている。職員は計画を自分のものと受け止めて支援に臨んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿いながら、24時間の生活の具体的内容や介護ケアを経過記録に残し、個々の状況や状態に応じた対応を行い、その内容も記録に具体的に残している。	介護計画に沿いながら、24時間の生活の具体的内容や介護ケアを経過記録に残し、個々の状況や状態に応じた対応を行い、その内容も記録に具体的に残している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のニーズに対応しながら、個別に美容室や買い物外出等に対応し、病院受診や付き添い等は基本的には御家族へ依頼しているが、御家族の状況に応じ、柔軟に対応する様にしている。	個々のニーズに対応しながら、個別に美容室や買い物外出等に対応し、病院受診や付き添い等は基本的には御家族へ依頼しているが、御家族の状況に応じ、柔軟に対応する様にしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生活を支えるものとして、整容や食事等を行う場所への外出や地域住民との触れ合う機会となる地区行事や幼稚園やボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らし作り努めている。	入居者の生活を支えるものとして、整容や食事等を行う場所への外出や地域住民との触れ合う機会となる地区行事や幼稚園やボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らし作り努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日バイタルサインチェックを行い、必要時には再検を行っている。心身の状態把握に努め、中多久病院定期受診や必要時にはかかりつけ病院への受診も本人や御家族の意向を踏まえた対応を行っている。	毎日バイタルサインチェックを行い、必要時には再検を行っている。心身の状態把握に努め、中多久病院定期受診や必要時にはかかりつけ病院への受診も本人や御家族の意向を踏まえた対応を行っている。	一人ひとりのこれまでの受診の経過や受診の希望を把握している。そして、利用者、家族の希望する病院での受診である。また、受診の際は改めて意向を再確認している。往診は無いが、それぞれのかかりつけ医との信頼関係が築かれている。訪問歯科での診療を支援し、利用者、家族の安心につながっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の日常的な健康状態把握(毎朝定時のバイタルチェック、及び再検)を行い、介護職員からの報告を基に助言や対応、医師への報告等をホーム長(看護師)が行っている。必要時は医療機関受診付き添いを行い、御家族との連絡調整を行なっている。	入居者の日常的な健康状態把握(毎朝定時のバイタルチェック、及び再検)を行い、介護職員からの報告を基に助言や対応、医師への報告等をホーム長(看護師)が行っている。必要時は医療機関受診付き添いを行い、御家族との連絡調整を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合には面会や病院職員への可能な限りの状態確認を行い、病状把握、情報交換等を行い、御家族との連絡調整を行なっている。	入院した場合には面会や病院職員への可能な限りの状態確認を行い、病状把握、情報交換等を行い、御家族との連絡調整を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴、身体的不調が起こった場合の確認事項、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での治療・検査に関する確認を行っている。	入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴、身体的不調が起こった場合の確認事項、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での治療・検査に関する確認を行っている。	利用開始にあたって、「入居時リスク説明書」を基にして利用者、家族と納得のいく話し合いが行われている。それにより入居後も家族は健康面や医療面、安全面について安心感を抱いている。また、これまで看取りの事例は無いが、看取りに対する事業所の考え方、連携体制、本人及び家族との話し合いや意思確認の方法等を含む指針も準備されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、緊急時訓練としてボディーコール訓練を行っている。	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、緊急時訓練としてボディーコール訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災に関しては、年2回の火災避難訓練を行い、自然災害対策に対する訓練も行っている。又、運営推進会議の場において、災害に関する情報提供・検討を行っている。	防災に関しては、年2回の火災避難訓練を行い、自然災害対策に対する訓練も行っている。又、運営推進会議の場において、災害に関する情報提供・検討を行っている。	夜間と昼間を想定しての年2回の避難訓練が消防署の指導を受けて実施されている。また、地震時の対応、避難の訓練も行われている。地域の地形や気候等の自然条件を踏まえて、自然災害にも備えており、運営推進会議で議題として取り上げられる等災害対策についての意識も高い。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	悠々の理念を基にした東ユニットのケア目標に、尊厳を守りながらケアしていく事を掲げており、日々その事に気をつけながら対応している。言葉遣いや態度に気をつけ、プライバシーを侵害しないように訪室時のノックや排泄の声掛けの仕方についても留意している。	悠々の理念を基にした西ユニットのケア目標に、尊厳を守りながらケアしていく事を掲げており、日々その事に気をつけながら対応している。言葉遣いや態度に気をつけ、プライバシーを侵害しないように訪室時のノックや排泄の声掛けの仕方についても留意している。	利用者の人格、尊厳を守ることを支援の大前提にしている。それを踏まえて接遇にも十分に配慮している。職員は利用者の了解を得て入室し、入浴や排泄支援の際にも直接的な言葉かけをしない等、利用者の羞恥心に配慮した支援に努めている。面会簿を個人ごとの面会カードに変更したのも、個人情報保護するための一例である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の意志決定は本人の意向を尊重するように努め、必要であれば助言を加えたり、ご家族からのサポートをして頂いたりしている。	日常生活の意志決定は本人の意向を尊重するように努め、必要であれば助言を加えたり、ご家族からのサポートをして頂いたりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったり、楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重するように目標に掲げ、QOLを大切に考えた対応に努めている。	ゆったり、楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重するように目標に掲げ、QOLを大切に考えた対応に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品道具などは自宅から持参してもらい、自室内にて化粧できるようにしている。化粧教室を行い、美容の意識を保持できるようにとお手伝いしている。整容に関しては、近くの理容室を利用したり、なじみの理容室等へご家族と外出したりされている。又、本人の好む服の購入に付き添ったりしている。	化粧品道具などは自宅から持参してもらい、自室内にて化粧できるようにしている。化粧教室を行い、美容の意識を保持できるようにとお手伝いしている。整容に関しては、近くの理容室を利用したり、なじみの理容室等へご家族と外出したりされている。又、本人の好む服の購入に付き添ったりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に食事を楽しめるように職員も同じメニューを頂いている。食後の後片付けなどは入居者の自主性を尊重しながら行ってもらう、家庭での過ごし方と変わらないように努めている。	入居者と一緒に食事を楽しめるように職員も同じメニューを頂いている。食後の後片付けなどは入居者の自主性を尊重しながら行ってもらう、家庭での過ごし方と変わらないように努めている。	職員も利用者と同じテーブルについてそれとなく見守り、最小限の介助をしながら、同じ食事を摂っている。利用者同士で会話をしながら食事をしている方もある。箸立てから自分の箸を取ったり、食後に食器を運んだり、洗ったりしている利用者も見受けられた。朝食を自分なりに通常より遅い時間から摂る利用者もあり、個人のペースに合わせた支援である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人の食事摂取量を考えながら配膳している。糖尿病の方もおられる為、食事量には気をつけている。食事摂取量のチェックも毎回行い、水分量にも気をつけている。毎月、体重測定を行っている。	各個人の食事摂取量を考えながら配膳している。糖尿病の方もおられる為、食事量には気をつけている。食事摂取量のチェックも毎回行い、水分量にも気をつけている。毎月、体重測定を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各個人のADL等を考慮した声掛けや介助を行っている。歯科治療などが必要な方については、ご家族に相談を行い、協力歯科医の訪問治療も行えるようにしている。	各個人のADL等を考慮した声掛けや介助を行っている。歯科治療などが必要な方については、ご家族に相談を行い、協力歯科医の訪問治療も行えるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各個人のADLに応じた排泄状況の観察・把握に努めている。排泄介助が必要な方には、排泄パターンを観察・把握しながら、必要な排泄ケア用品の使用を行っている。日中・夜間等、定期・不定期に排泄介助・ケアを行っている。	各個人のADLに応じた排泄状況の観察・把握に努めている。排泄介助が必要な方には、排泄パターンを観察・把握しながら、必要な排泄ケア用品の使用を行っている。日中・夜間等、定期・不定期に排泄介助・ケアを行っている。	一人ひとりの排泄習慣やパターンが把握されている。排泄に関するケアチェック表には、ケアの内容、提供場所と使用用具、解決すべき具体的内容、対応するケア項目が記入されている。利用者全員がトイレ誘導による排泄を基本にしている。その際、羞恥心や精神的な負担にも十分に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や軽運動を促している。又、乳製品や食物繊維、水分摂取を促し、適宜緩下剤の服用や必要時は看護師による浣腸対応を行ったりして、排泄に関する対応を行っている。	散歩や軽運動を促している。又、乳製品や食物繊維、水分摂取を促し、適宜緩下剤の服用や必要時は看護師による浣腸対応を行ったりして、排泄に関する対応を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に毎日可能であり、シャワー浴も希望があれば対応している。入浴前には血圧測定を行い、体調不良を招かないように対応している。入浴パターンも把握しながら、嫌がられる場合には無理強いしないようにしている。	入浴は基本的に毎日可能であり、シャワー浴も希望があれば対応している。入浴前には血圧測定を行い、体調不良を招かないように対応している。入浴パターンも把握しながら、嫌がられる場合には無理強いしないようにしている。	入浴の準備は毎日できており、ゆっくりと毎日でも入浴する利用者もある。一人ひとりのペースに合わせての入浴支援が行われている。寒い時季のヒートショック対策には十分考慮し利用者が湯ぶねから上がる時には、特に配慮して介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるように室温調整や音等に配慮している。睡眠パターンを観察・把握しながら、不眠がある場合には日中の休息を取り入れたりする等の対応を行っている。医師処方薬の服用をきちんとしてもらうように対応している。	安眠できるように室温調整や音等に配慮している。睡眠パターンを観察・把握しながら、不眠がある場合には日中の休息を取り入れたりする等の対応を行っている。医師処方薬の服用をきちんとしてもらうように対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服に関しては職員管理とし、きちんと服薬してもらうように援助している。高血圧等の方もおられるので、バイタルチェックや一般状態の観察等を行っている。薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認している。各個人の特性を踏まえた服薬介助の仕方を行っている。	内服に関しては職員管理とし、きちんと服薬してもらうように援助している。高血圧等の方もおられるので、バイタルチェックや一般状態の観察等を行っている。薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認している。各個人の特性を踏まえた服薬介助の仕方を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年間行事やホームレクを行い、四季の移り変わりを感じたり、地域の方々との触れ合い、ご家族との交流が図れ、張りのある生活が送れるように努めている。	年間行事やホームレクを行い、四季の移り変わりを感じたり、地域の方々との触れ合い、ご家族との交流が図れ、張りのある生活が送れるように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な散歩や買い物、美容室までの外出や花見・社会見学と称した外出を行ったり、ご家族との外出・外泊等に関する支援を行っている。	日常的な散歩や買い物、美容室までの外出や花見・社会見学と称した外出を行ったり、ご家族との外出・外泊等に関する支援を行っている。	ホームを含む広い法人施設の敷地内や近くを散歩したり、公園まで出かけたりしている。出入りが自由に行ける玄関から外に出る利用者には声をかけ、後ろから見守りながらの外出支援である。菜の花、こいのぼり、彼岸花の見学、花見など年間計画による外出の機会も多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員にて行っている。医療機関受診や買い物等を行った場合には、必ず出納帳記載を行っている。買い物については、職員が代理で購入したり、ご家族と一緒に出かけられたりする事もある。	金銭管理は職員にて行っている。医療機関受診や買い物等を行った場合には、必ず出納帳記載を行っている。買い物については、職員が代理で購入したり、ご家族と一緒に出かけられたりする事もある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙に関しては、本人の意向を尊重した対応を行っている。電話での会話については、プライバシーへの配慮を行っている。	電話や手紙に関しては、本人の意向を尊重した対応を行っている。電話での会話については、プライバシーへの配慮を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混雑をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	人的環境・生活環境等に注意を払い、快適な生活空間となる様に努めている。清潔な生活環境の提供を考え、日常的な清掃や食後の片づけ等には留意している。温度、湿度等に気をつけ、空調関係の調整には気をつけている。	人的環境・生活環境等に注意を払い、快適な生活空間となる様に努めている。清潔な生活環境の提供を考え、日常的な清掃や食後の片づけ等には留意している。温度、湿度等に気をつけ、空調関係の調整には気をつけている。	どの空間も清潔感がある。利用者が多くの時間を過ごすダイニングは、広くて、明るく、静かで、五感刺激にも配慮している。ソファやテーブルの配置にも工夫が見られ、安心感のある居心地の良い場所になっていて、利用者は思い思いにゆっくりと過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを2カ所に分け、なるべく個人がゆっくりと過ごせたり、他の入居者と交流が持てたりする事が出来るような環境作りを心がけている。テレビを見たり、音楽を聞いたり、その時々で過ごし方に変化が持てるように配慮している。	ソファを2カ所に分け、なるべく個人がゆっくりと過ごせたり、他の入居者と交流が持てたりする事が出来るような環境作りを心がけている。テレビを見たり、音楽を聞いたり、その時々で過ごし方に変化が持てるように配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に運び入れ、快適に過ごしてもらえるように配慮している。入居後もご家族と話しながら、居心地のよい環境作りに努めている。	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に運び入れ、快適に過ごしてもらえるように配慮している。入居後もご家族と話しながら、居心地のよい環境作りに努めている。	これまでの暮らしで使い慣れた物や馴染みの品が、各居室に見受けられる。椅子、小テーブル、整理用のたんす、観葉植物などの鉢植え、家族の写真、手鏡、時計、その他いろいろな家具や品物が見受けられる。各居室ともゆったりと安心して暮らせる場所になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行状態を勘案し、ご家族へ介護シューズの導入を提案したりして、安心して歩行出来るように努めている。居間、脱衣所、浴室、居室内等に手すりを設置している。	歩行状態を勘案し、ご家族へ介護シューズの導入を提案したりして、安心して歩行出来るように努めている。居間、脱衣所、浴室、居室内等に手すりを設置している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない